

事務事業評価シート

評価対象年度 令和 2 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	常設・企画展示費			
担当課係名	平福記念美術館 課	事業 係	作成者	小松 亜希子
第2次仙北市総合計画での位置づけ	施策の大綱	個性豊かな心を育むまち		
	基本計画	教育文化		
	主要施策	歴史的文化遺産の活用 1		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	6 目 美術館費
事業期間	令和 年度 ~ 令和 年度	新規/継続の区分		継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	来館者全員
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	常設展を開催し、多くの来館者に郷土が誇る日本画家・平福穂庵・百穂父子のことを知ってもらおうと共に、企画展では多種多様な美術作品を展示することで多くの人に芸術への関心を持ってもらいたい。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	①常設展示の開催（通年） ②企画展の開催（5回）

【事務事業の推移】

	項 目		単 位	2年度実績		
	効果	活動指標	常設展・企画展の開催日数	目標	日	302
実績				日	258	
達成度					85.4%	
成果指標		入館者数	目標	人	12,000	
			実績	人	14,131	
			達成度		117.8%	
投下コスト	項 目		総事業費	2年度決算額(千円)		
	事業費（人件費を除く）(A)			8,448		
	人 件 費 (B)		—	19,914		
	職 員 数		—	2.45		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,128		
	(A) + (B) 投下コスト		—	28,362		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			28,362	
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	109,930		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,131		

【事務事業の今までの成果】

常設展を開催していることで、県外からの来館者に平福穂庵・百穂父子のことを知ってもらうことができている。また、企画展を開催したことで、平福記念美術館を知らなかった人に覚えてもらうこともできて、少しずつではあるがリピーターも増えてきている。仙北市民を通常無料としていることで、市民の来館者も少しずつ増えてきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	秋田県では2つ、秋田市には1つ公立美術館があり、それぞれで企画展を開催している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	平福父子作品をもっと充実させてほしいという声がある一方、平福作品にこだわらない企画展も開催していいのではという声もある。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	令和2年度はコロナ禍による感染予防対策のため企画展を一つ中止せざるをえない状況だったが、年度途中から来館者全員無料としたこともあってか、入館者数が目標値を上回った。今後も企画展の中止がない限りは現状通りに継続していく。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために企画展を一つ中止したものの、入館者数が目標値を上回ることができた。本事業は児童生徒にとっても貴重な教育の場であるので、今後も子どもたちの鑑賞を促進していきたい。

